

仲間の応援が支えた 団体優勝！

当別中卓球部（男子）

～石狩管内中学校新人卓球大会～



伊藤副主将
得意技はドライブ

熊谷主将
得意技はツッツキ

10月28日に北広島市で行われた「石狩管内中学校新人卓球大会」へ、当別中卓球部（男子）が出場しました。石狩管内の各地区を勝ち上がった16チームは、まず4チームずつの予選リーグを行い、当別中は3勝0敗の1位通過。各リーグの上位2チームが準々決勝に上がり、さらに4チームが決勝リーグに進出。当別中は選手と応援団が一丸となって快進撃を続け、3勝0敗という好成績で見事に優勝しました。今回はチームを代表して、2年の熊谷主将と伊藤副主将にお話を聞きました。

粘り強い試合が連続！

～今大会の試合形式～

1ゲーム11点の5ゲームマッチ（3ゲーム先取）。1・2番手はシングルス、3番手はダブルス、4・5番手はシングルスによる試合。予選リーグでは全5試合行い、決勝リーグでは3勝先取で試合終了。

【熊谷主将】

忘れられない試合となったのは、決勝リーグでの「花川北中」戦で、僕は3番手で高島尚之くん（2年）とダブルスで出場しました。試合の進行にとても時間がかかり、僕たちの試合中に4・5番手のシングルの試合が終わってしまい、当別中・花川北中と共に「2勝」していることが試合中にわかりました。僕たちの試合にすべてがかかってい

る状況で、とても苦しかったです。花川北中に2ゲームを先取された後に、当別中が何とか粘って2ゲームを取り返し、最後の5ゲーム目で「6対10」の大ピンチ。マッチポイントで、あと1点を落としたり当別中が負けてしまうという場面で、僕たちは試合を諦めかけていましたが、その時、「仲間の応援」が僕たちにやる気にしてくれて、逆転勝利しました。



試合中に円陣を組み
気合いを入れる当中

【伊藤副主将】

決勝リーグでの「東部中」戦では、僕は5番手で出場しました。4番手まで終わ

り、当別中・東部中と共に「2勝」していたので、5番手の僕の試合で勝ち負けが決まる状況で、東部中に2ゲームを先取されていました。3ゲーム目からは僕が何とか粘り、3ゲーム連取し勝利しました。試合中には、「仲間の応援」が本当に力になりました。当別中の応援のすごさは、「石狩管内で一番！」だと僕は思います。そして、団体戦で仲間が応援してくれる時が、特に卓球のおもしろさを感じます。

今後の抱負を聞いてみると「来年の夏の中体連で、同じメンバーで出場できる機会があるので、石狩管内でもう一度優勝し、その後の全道、全国大会を目指したい」と、主将・副主将は口をそろえて教えてくれました。今後の活躍も期待しています。（11月6日取材）



女子部員7人も、男子部員と一緒に練習を頑張っています。